

# 校長室便り

3-1号



令和7年度卒業生へありがとうを伝える会



## ～ 1年間 たいへんお世話になりました ～

令和7年度がいよいよ終わりを迎えます。正直なところ、私の長い教職員生活の中でも、これまで経験したことのないような大変な1年間でした。保護者の皆様には、ご心配をおかけしたことをお詫びするとともに、温かいご支援をいただいたことに深く感謝申し上げます。子供たちもたくさん不安を抱えていたことと思いますが、教職員と一緒に、本当によく頑張ってくれました。私は校長として、この難局を乗り越えた本校児童・保護者・地域の皆様・教職員を心から誇りに思います。本当にありがとうございました。間もなく令和8年度が参りますが、今後とも何とぞよろしくお願い致します。



先日の修了式で一年間のしめくくりとして、「次の船出」という話を子供たちにしました。

学校生活を船の航海(船の旅)に例えると、修了式は去年、船出をして、一年間の航海を終え、目的地の港に到着したことをお祝いする式です。この一年を振り返ると、穏やかな日もありましたが、雨風の強い波の高い日もあったことと思います。しかし、みなさんが一生けん命頑張ってきたので、修了式をむかえることができました。

みなさんは、この一年の中で「失敗してもいい」「間違えてもいい」、でも、それを次に生かして、よい意味で変わろう。今やることに全力を尽くして、それをつなげて、次へのステップにしようと考えてきたと思います。いったん、船は港に入ります。春休みは、夏休みや冬休みと比べて、一番大切な休みです。それは、今年一年間を振り返り、成長できた点、まだ足りない点をよく考える時間になるからです。

そして、次の新たな航海、すなわち、四月からの新しい学年への船出が待っています。何の準備もなく船出をするのは大変危険です。それは、ひとつ上の学年という長い航海への船出になるからです。長い航海をするには準備が必要です。元氣よく進んでいくために必要な「希望」という名の【エンジン】を備え、みなさんが進む方向を示す「目標」という名の【コンパス(羅針盤)】や、これまでの努力を力にする「振り返り」という名の【荷物】を春休みの間に用意してください。

この一年間で頑張ったことを思い出して【自信を持つ】ことや、【勉強】の復習や読書をしたり、【運動】をしたりすること、次の学年の生活を想像して、勉強や運動、生活の【目標】を立てるといことです。そして近い将来、自分のなりたい姿や活躍する姿を想像して、わくわくして過ごすしてほしいと思います。そうすることで、きっとすばらしい新たな船出ができるはずですよ。しっかりと頑張ってください。

春休みも半ばを過ぎようとしています。船出の準備は進んでいるでしょうか?今一度氣を引き締めて新しい航海に備えてください。

